



その「めまい」放っておいて大丈夫？

早いもので、今年も「師走」となりました。「師走」の語源は、「師匠も忙しく走り回る時期」という説があります。みなさんも年末・年始の準備に「目が回る」忙しさなのではないでしょうか。「目が回る」は忙しい様を表す言葉ですが、本当に周りのものがグルグル回るような感覚に陥ることがあり、これを「回転性めまい」と医学的にいいます。「めまい」を単なる疲れだと思ってはいませんか？ その中には、人生を大きく変えてしまう怖い病気が隠れていることもあるのです。今回は「めまい」の中でも、重大疾患が原因となっているものについて簡単に解説します。

天井が回る、ふらふらする、倒れそうになる、真っ直ぐ歩けない、後へ引き込まれそうになる、目の前が真っ暗になるなど、人によって全く違う症状が「めまい」という言葉で表現されます。そのため原因を特定することが難しい病気の一つです。原因として多いのは、身体のバランスをとる「三半規管」という耳にある臓器の異常で、回転性めまいが特徴とされています。「めまい」の原因となる重大疾患は、①脳卒中②心疾患(不整脈など)③循環不全(重症貧血、脱水など)などがあります。それぞれに特徴があり、その有無を確認することで医師は診断の助けとしています。以下に特徴を記載しますので参考にしてください。

※すべての人に当てはまるわけではありませんので、あくまで参考程度に考えてください。

- ① **脳卒中**...ふわふわ浮いた様なめまい、突然発症する、症状が治まることはない、身体に麻痺がある、意識がおかしい、言葉が出ない、頭痛がある など
- ② **心疾患**...動悸がある、胸苦・胸痛がある、息切れがある、むくみがあるなど
- ③ **循環不全**...眼前暗黒感(目の前が暗くなる)、出血が疑われる(黒色便、血便、吐血、外傷)など

「めまい」の多くが危険ではないもので、放っておいても大丈夫であることが多いのも事実です。しかし、中には人生を大きく狂わせてしまう怖い病気も隠れているのです。この文章を読んでいるあなたが、年越しの準備をしているときに「めまい」を感じたら、危険な「めまい」ではないか考えてください。もし危険な「めまい」に当てはまる時は、放っておかずに医療機関へ相談してくださいね。



大間病院の年末年始休診日のお知らせ

12月	28日(月)	29日(火)	30日(水)	31日(木)
	診療	休診	休診	休診
1月	1日(金)	2日(土)	3日(日)	4日(月)
	休診	休診	休診	診療

※12月29日(火)から1月3日(日)まで、年末年始のため休診とします。
なお、救急患者については随時受付します。